

音楽科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
- 音楽活動に興味・関心をもち、表現することに意欲的な態度が多く見られた。
- 曲の特徴からどのように歌ったり楽器を演奏したりするかについて考えることができた。鑑賞では音楽を聴いて感じ取ったことを体の動きや言葉で表現し、味わって聴くことができてきている。
- (2) 課題
- 曲想を感じ取って歌い方を工夫したり、自分たちの表現したい思いを楽器などで表せたりするようにすること。

2 観点ごとの実態

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
知識・技能	・声を合わせて楽しんで歌ったり、音色や指使いに気を付けて小物打楽器や鍵盤ハーモニカを演奏したりしている。	・自然に音楽にのって楽しみながら歌ったり、リズムに気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりしている。	・音楽の雰囲気に合わせて歌ったり、息の使い方や指づかいに気を付けてリコーダーを演奏している。	・のびやかな声で歌ったり、リズムを組み合わせて音楽をつくったりする活動に楽しんで取り組んでいる。	・楽器の演奏に意欲的に取り組み、リズムに気を付けながら演奏している。	・自然で無理のない歌声で歌ったり、音色に気を付けて合奏したりしている。
思考・判断・表現	・音楽に合わせて体を動かしたり手拍子したりしながら楽しんで聴いている。	・音楽を聴いて様子を想像しながら楽しんで聴いている。	・歌詞を読んで場面を想像したり、声の強さを工夫したりして表現している。	・旋律の繰り返しや強弱の変化に気付いて鑑賞している。	・歌詞から様子を想像したり、歌い方の工夫を考えたりしている。	・楽器の音色や、強弱速度の変化に気付いて鑑賞している。
主体的に学習に取り組む態度	・歌や楽器に興味をもち、楽しんで取り組んでいる。	・歌や楽器や音楽づくりに興味をもち、楽しんで取り組んでいる。	・音色や指づかいに気を付けてリコーダーを演奏する活動に意欲的に取り組んでいる。	・声をそろえて丁寧に歌うことや、友達と協働して音楽をつくることに意欲的に取り組んでいる。	・楽器の音の重なりに注目しながら演奏することに意欲的に取り組んでいる。	・パートの役割を意識しながら演奏することに意欲的に取り組んでいる。

3 課題と授業の改善策

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
課 題	知識・技能	・指づかいに気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏すること。	・拍にのってリズムや鍵盤ハーモニカを演奏すること。	・リコーダーの指づかいを定着させること。	・リコーダーの指づかいや息の使い方などの定着させること。	・声を合わせて歌うことや、他のパートを聴きながら歌うこと。	・互いの声を聴き合いながら声を合わせて歌うこと。
	思考・判断・表現	・音楽に合った動きを身に付けること。	・音楽の良さや楽しさに気が付くこと。	・音楽の良さや楽しさを感じて、言葉で表現すること。	・曲想に応じた歌い方の工夫をすること。	・音楽表現に思いや意図をもつこと。	・思いや意図を、音楽表現に生かせるようにすること。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽を聴いたり歌ったりする活動に楽しんで取り組めるようにすること。	・音楽を聴いて思ったことや感じたことに自信がもてるようにすること。	・楽器の練習に粘り強く練習に取り組めるようにすること。	・曲想に合った歌い方や演奏の仕方に進んで取り組めるようにすること。	・主体的に演奏を工夫して表現すること。	・主体的に練習したり感じたことを発言すること。
授 業 の 改 善 策	知識・技能	・鍵盤ハーモニカを演奏する前に毎回階名唱をしながら指で練習をする。	・ゆっくりの速さから初めて段階を踏んで練習に取り組みせる。	・リコーダーの演奏の時は指づかいを毎回確認する。	・音階の練習を取り入れて指づかいや息の使い方を身に付ける。	・自然で無理のない歌声で、回りの声を聴きながら歌うことを意識させる。	・互いの声を聴きながら歌えるよう、教材を工夫する。
	思考・判断・表現	・拍や音楽の特徴気付くよう、親しみやすい楽曲を取り入れる。	・言葉だけでなく体を使って表現するなど様々な方法で表現させる。	・語彙を並べたり、友達の意見を共有したりして思いを表現できるようにする。	・絵や写真などを用いてイメージを膨らませて曲想をつかませる。	・音楽への思いや意図を音楽で試したり表現したりする時間を設ける。	・歌い方の工夫や器楽の演奏の工夫について具体的な手立てを示す。
	主体的に学習に取り組む態度	・体を動かしたりリズムを演奏したりして楽しみながら歌う。	・良い意見を紹介したり共有したりして自信をもたせる。	・楽器の指づかいを視覚的に分かりやすく捉えられるように ICT を活用する。	・歌詞を読んだり、曲の雰囲気を確かめたりしながら曲想をつかませる。	・各教材の中で演奏の表現の工夫について考える機会を設ける。	・自信をもって取り組めるよう教材やワークシートの工夫をする。

